

最高裁秘書第460号

令和8年3月19日

林弘法律事務所

弁護士 山中理司様

最高裁判所事務総長

司法行政文書不開示通知書

令和7年8月15日付け（同月19日受付、第070190号）で申出のありました司法行政文書の開示について、下記のとおり開示しないこととしましたので通知します。

記

- 1 開示しないこととした司法行政文書の名称等
  - (1) 「裁判官と検察官の人事交流」と題する文書（令和6年12月31日現在の人数を含むもの）
  - (2) 「裁判官の退職者数」と題する文書（令和6年度の人数を含むもの）
- 2 開示しないこととした理由
  - 1の(1)及び(2)の各文書は、いずれも作成又は取得していない。

(注) この判断に苦情がある場合は、この通知を発した日（本通知書の右上に記載された日付）の翌日から起算して3か月の間、最高裁判所事務総局秘書課に対して苦情の申出をすることができます。

(担当) 秘書課（文書開示第二係） 電話03（4233）5240（直通）